

MASTERPIECES DISCOVERED BY THE HOSHINO GALLERY
**WOMEN BETWEEN
HOPE AND FEARS**

発掘された珠玉の名品 少女たち — 夢と希望・そのはざまで 星野画廊コレクションより 2023.7.15[sat]-9.10[sun] 京都文化博物館



発掘された珠玉の名品

少女たち

— 夢と希望・そのはざまで 星野画廊コレクションより

2023年

7/15 (土)
▼
9/10 (日)

開室時間：午前10時～午後6時（金曜日は午後7時30分まで）※入場はそれぞれ開室の30分前まで／休館日：月曜日（ただし、7月17日、24日は開館）、7月18日
観覧料：一般1500円（1300円・大高生1000円（800円）・中小生500円（300円）※すべて税込※（）内は前売り及び20名以上の団体料金
※前売券は5月15日から7月14日まで販売／主催 京都府、京都文化博物館、産経新聞社、関西テレビ放送、京都新聞／後援 京都市、京都府教育委員会、
京都市教育委員会、公益社団法人京都市観光連盟、公益社団法人京都市観光協会、KBS京都、エフエム京都／企画協力 青幻舎プロモーション



THE
MUSEUM
OF KYOTO

京都文化博物館

〒604-8183 京都市中京区三条高倉

TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp

岡本神草《夢の舞妓》(部分) 1922年頃



粥川伸二《娘》1928年

作者の笠木治郎吉は横浜で活動した画家で、長年「謎の画家」とされてきましたが、近年の研究の進展とともに光が当てられ、再び注目が集まっています。



笠木治郎吉《花を摘む少女》1897-1912年頃

小脇に抱えている書物は聖書でしょうか。このモダンガールを描いた粥川伸二は、長崎をテーマにした日本画を多く描きました。



田代正子《娘》1940年

畜生塚とは豊臣秀吉が養子秀次を自害させ、妻妾、子供を処刑して三條河原に埋めた事件。描かれているのは処刑される直前の呆然とした女性の姿です。



太田喜二郎《花摘図》1911-1912年頃



中西利雄《赤いスカーフ》1938年



幸田曉治《双子》1970年



甲斐莊楠音《畜生塚の女》1919年頃



秦テロウ《淵に佇めば》1917年

モデルの女性は画家・太田喜二郎留学中の下宿先のお嬢さんで、服飾関係の仕事に就くことを目指していたそうす。明るい光に溢れた油絵です。



作者不詳《柳江》《夏苑の少女》1912-1925年頃



集まれ、少女たち！

明治、大正、昭和……。時代のうねりの中で、いつしか忘れられてしまった実力ある画家たち。本展では、彼(女)らが遺した素晴らしい作品を見つけ出し、紹介してきた星野画廊のコレクションから、「少女たち」をテーマに紹介します。女性たちの人生のさまざまなが描かれた日本画と洋画、約120点を展示しますので、作品の放つ魅力を存分にお楽しみください。

観覧料／全て税込

一般	1,500円(1,300円)
大高生	1,000円(800円)
中小生	500円(300円)

※()内は前売券、及び20名以上の団体料金です。*お得な前売券は2023年5月15日(月)～7月14日(金)までの販売(会期中は当日券のみ)。

※未就学児は無料(ただし、保護者同伴) ※学生料金で入場の際には学生証をご提示ください。

※障がい者手帳などをご提示の方と付き添い1名までは無料。

※上記料金で2階総合展示と3階フィルムシアターもご覧いただけます。(ただし催事により有料の場合があります。)

[主な入場券販売所] 京都文化博物館、公式オンラインチケット、ローソンチケット(Lコード:59500)、チケットぴあ(Pコード:686-386)、セブンチケット(セブンコード:099-278)、イープラスほか



京都文化博物館
〒604-8183 京都市中京区三条高倉
TEL.075-222-0888 www.bunpaku.or.jp

※感染症等今後の状況により、掲載内容が変更になる場合があります。最新情報は展覧会公式サイトなどでご確認ください。

関連イベント

①トーク会 (要申込)

「石を磨く——星野桂三さんのお話を聞く」

話者：星野桂三氏(星野画廊)

聞き手：関純子(関西テレビ放送アナウンサー)、植田彩芳子(当館主任学芸員)

日時：7月16日(日) 10:30～12:00

会場：3階フィルムシアター(定員150名)

参加費：無料(ただし、本展入場券[半券可]が必要)

②夏休み 親子でアート鑑賞 (要申込)

「自分だけの名品を見つけよう！」

親子で展示を鑑賞し、気に入った作品一点を選び、感想を語り合います。

対象(目安)：小学校3年生以上

※必ず保護者同伴でご参加ください。※保護者の方が連名でお申し込みください。

日時：7月23日(日) 13:00～15:00

場所：6階展示室(定員15組30名)

参加費：無料(ただし、本展入場券[半券可]が必要)

③シンポジウム (要申込)

「近代京都絵画史研究を振り返る：京都、むかしがたり」(共催：明治美術学会)

[第1部] 講演「京都の近代日本画再評価と星野画廊」

講師：上園四郎氏(笠岡市立竹喬美術館 前館長)

[第2部] 座談会：上園四郎氏、榎原吉郎氏(京都市立芸術大学名誉教授)

原田平作氏(大阪大学名誉教授)、星野桂三氏、司会：植田彩芳子

日時：2023年8月5日(土) 13:30～17:00

会場：別館ホール(定員200名)

参加費：無料(ただし、本展入場券[半券可]が必要)

④ワークショップ (要申込)

「貼り絵でオリジナルうちわを作ろう！」

日時：2023年8月11日(金・祝)

①10:30～12:00 ②13:30～15:00

場所：別館 2階講義室(定員各回20名)

参加費：700円(材料費・税込)

※ほか、本展入場券[半券可]が必要です。

⑤星野桂三さんによるギャラリートーク

日時：7月21日(金)、8月4日(金)、18日(金)、9月1日(金)

17:00から展示室内で行います。

※参加費および事前申込み不要。当日の入場者に限ります。

①②③④の申込み方法

先着順。定員に達し次第終了。1名ごとにお申込みください。

②親子でアート観賞については、1組ごとにお申込みください。

往復はがきに住所、氏名(返信面にも)、電話番号、希望イベント名・番号を明記し、京都文化博物館「少女たち展関連イベント」係へ。または、京都文化博物館HP、右記QRコードからお申込みください。
https://www.bunpaku.or.jp/exhi_special/form/

6月1日(木)より受付開始



特別イベント
申込フォーム

《拳の舞妓》の刻印入り！ 本展オリジナルグッズ 祇園・原了郭の黒七味

・画像はイメージです。
・他にも多数のオリジナルグッズを用意しております。



音声ガイド、その他イベント・コラボグッズについては
決定次第公式サイトにてお知らせいたします。

展覧会公式サイト

<https://www.ktv.jp/event/shoujiyotachi/>

